

## 東北平和の旅

東北平和の旅（2013.8.1～3）は、東日本大震災から3年目を迎えるにあたり、被災地の視察、宮城県石巻市・ひまわり保育園での活動、仙台市若林地区のボランティア団体ReRootsでのボランティア活動を通して、これからの東北支援をそれぞれが考えるきっかけとなることを目的として実施されました。参加者は平和学園小学校の児童、アレセア湘南中高の生徒、これに加え保護者、教職員の計23名、訪問先は、宮城県気仙沼市、石巻市、仙台市若林地区でした。



気仙沼市唐桑地区・かき小屋で



気仙沼市・「第18共徳丸」(解体が決まりました。)



石巻市「ひまわり保育園」で



ペープサート上演後の挨拶



仙台市若林地区ReRootsでのボランティア活動「西本願寺さんと一緒に活動でした。」



東日本大震災から2年4ヶ月が過ぎ、多くあったガレキも少なくなり、更地になった被災地が広がっていました。震災の記憶が薄れて行く中で、被災者の多くは依然仮設住宅に住み、先の目えない苦悩の中にいるように感じました。これから私達に何ができるのだろうか、問いを持って帰路に着きました。

次の日には石巻市で震度5強の揺れがありました。被災地ではまだ余震が続いています。被災地の方々が1日も早く安心して生活ができるようにお祈り致します。